事例No.	1232
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	静岡県牧之原市

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・関係人口 ・地域運営組織

事例種類	移住促進

事例内容・タイトル

アウトドア志向者にあったまちの特性を生かす

出典

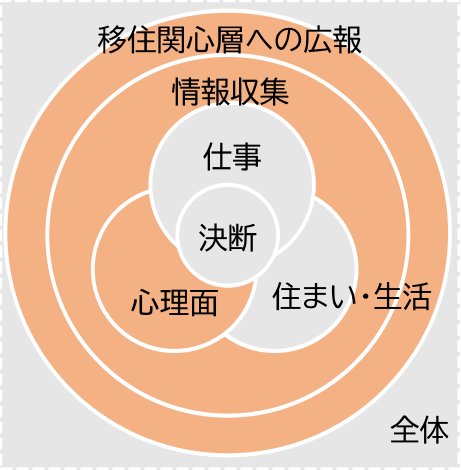
「地方への人の流れの創出」に向けた効果的移住定住推進施策事例集

（12）静岡県牧之原市　アウトドア志向者にあったまちの特性を生かす

■牧之原市の取り組みの特長・ポイント

◆ サーフポイントとして有名な静波海岸、豊富な求人（農業、製造業）等を活かし、**アウトドア志向のファミリー層をターゲット**にしており、イベント出展時の華やかな装飾等、求める客層の印象に残る工夫を凝らしている。
◆ 市民有志による移住サポーター制度があり、移住者の下見～移住後のスムーズな地域への溶け込みを支援。**「知らないまち」を「知り合いのいるまち」にすること**を心がけている。

■特徴的なフェーズ



地域	立地特性	人口規模	時間距離
中部	海	小・4.6	2時間30分

■移住定住施策の取り組み体制

- 主管課
  - 企画政策部情報交流課　対外的なまちの魅力PRに関連する業務を担当、移住は1人のほぼ専任。
- 協力体制
  - 庁内では関係施策各部署と連携しているほか、静岡中部連携中枢都市圏で連携しての移住施策も行う。

① 移住関心層への広報・② 情報収集段階

- 市の知名度が高くないため、「静岡県」「静岡県中部」の単位でイベント出展を行っているが、その際に市のブースの装飾にこだわっている。サーフィンをはじめとしたアウトドア愛好者がターゲットであることが一目でわかるよう、花等で華やか・リゾート感のある装飾を行っている。
- 移住先を絞り切れていない移住希望者を取り込めるように、相談があればどのような属性の方の相談でもしっかり受けることで、有楽町のふるさと回帰センターの県ブース担当者からおすすめ地方公共団体として紹介してもらいやすくなるよう取り組んでいる。



図：飾りつけを行ったブース
出所：牧之原市提供

⑤ 心理面のサポート

- 移住するにあたって、場所や制度の案内の次の段階に「人案内」があり、「知らないまち」を「知り合いのいるまち」に変えるステップとして注力している。市民有志の移住サポーターをはじめ、地元住民や先輩移住者との交流により、「ご近所さん」の感覚をつかみ、地域にスムーズに溶け込めるよう支援している。


図：移住希望者交流会の様子
出所：牧之原市提供